

1年	特に育成したい能力や態度 (具体的な数字や言葉で記載する) 2～3にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを自分の力で書き表す。 文字に親しむ機会を増やし、自分の力で読めるようにする。 2学期から学習する漢字を確実に定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが書けたという達成感の得られる指導を行う。書くことが難しい児童については、教師の字をなぞらせたり、真横に手本を示したりする。 読むことの楽しさを感じられる指導を行う。読むことが苦手な児童については、指で一文字一文字確認しながら字と音を適合させる。また、毎日の音読の宿題や週2回の朝読書、週1回の図書の日を確保する。 正しい姿勢と鉛筆の持ち方を意識させ、丁寧に練習することを通して、形や筆順を確実に覚えられるようにする。 	<p>(成果) 自分の考えを文で書けるようになった (達成率 A)</p> <p>(課題) 字は書けるが、正しい筆順で書くことは難しい。どんなときでも丁寧な字を書けるようにする。</p>
算数	<ul style="list-style-type: none"> 算数の様々な概念を形成し、楽しく算数の基礎・基本を形成する。 足し算や引き算など、基礎的な事柄を繰り返し行い、確実な力をつける。 文章問題を自分で読み、解けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> おはじきやブロックを数える、長さやかさを図るなど、多くの具体物を操作し、算数の基礎となる概念を形成する。 朝学習、家庭学習にプリントやスキルを使い、繰り返し学習する。徐々にブロックや指操作がなくてもできるようにする。また、デジタルドリルも活用する。 「文章を読み、立式し、答えを導き出す」という一連の流れを掲示し、自力解決できるようにする。立式するために必要な数字やキーワードを確認し、正しく解答できるようにする。ヒントを出せば100パーセントの回答率をめざす。 	<p>(成果) 基本的な計算問題を解くことができた。具体物の操作を通して、数学的な見方・考え方を養うことができた。(達成率 A)</p> <p>(課題) 文章問題を自分で解くことが難しい。キーワードを確認する共に、文章全体の意味を理解しながら立式させる。</p>
生活	<ul style="list-style-type: none"> 季節の移り変わりを生かして、生活を工夫したり楽しくしたりすることができるようにする。 多面的な見方で、身の回りの事象について「気づく」能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然を利用したり、身近な物を使ったりして遊ぶ活動を行うことを通して、遊びや遊びに使う物を様々に考え工夫してつくり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付く。他者との関りの中で、みんなと楽しみながら遊びを創り出せるようにする。 活動したり考えたり表現し合ったりすることを増やし、身近な人々、社会及び自然のよさやすばらしさ、自分との関わりに気付けるようにする。 	<p>(成果) 五感を働かせて、気付いたことや分かったことをカードに書くことができた。(達成率 B)</p> <p>(課題) 記入の仕方の例を段階的に少なくしていき、自分だけでも書けるようにしていく。</p>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 教材を通して考えたことや思ったことを、自分の言葉で伝えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物などの心情を想像する手助けとして、イラストや劇化などを取り入れる。話す機会を多く設け、友達の考えから更に自分の考えを深めていけるようにする。 	<p>(成果) 教科文から、自分事として考えることができた。ほとんどの児童は考えを自分の言葉で表現することができた。(達成率 B)</p> <p>(課題) 考えを自分の言葉で表現することがまだ難しい児童もいる。引き続き、例示を真似することから書き方を学習する必要がある。</p>